



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北井 暁夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 正木 輝

TEL 03-6361-8111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,905	4.4	293	36.6	311	16.9	182	23.5
23年3月期第1四半期	24,812	18.3	214	—	266	—	148	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 45百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △324百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.39	—
23年3月期第1四半期	5.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	70,385	47,652	67.2
23年3月期	70,743	47,978	67.3

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 47,267百万円 23年3月期 47,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,000	△11.4	600	△49.4	600	△53.1	300	△58.8	12.12
通期	130,000	5.7	2,200	4.6	2,200	3.4	1,300	15.4	52.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	24,855,283 株	23年3月期	24,855,283 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	101,478 株	23年3月期	101,478 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	24,753,805 株	23年3月期1Q	24,754,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を中心としたアジア市場の旺盛な需要に支えられ順調に回復してまいりましたが、3月11日に発生した東日本大震災と津波による原子力発電所の事故の影響によりサプライチェーンの寸断、電力供給問題による工場の稼働率低下などにより大きな打撃を受けました。

当社グループを取巻く環境につきましても、国内においては、当社の主要仕入先が震災により甚大な被害を被り、自動車業界を中心に部材の供給が滞り、生産の調整により業績に影響を及ぼしましたが、仕入先の統合に伴う商権の獲得により売上高は増加いたしました。

但し、娯楽機器関連につきましても、震災の影響による部材調達難により新規開発の遅れ等生産計画が大幅に修正されました。

また、海外においては、震災の影響を受けた日系企業の生産調整により低迷いたしました。更に、新興国のローカル企業は堅調なものの、欧州の金融不安の影響を受け欧米系企業向けは厳しい状況が続いております。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、259億5百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

利益面につきましては、上記売上増加により経常利益は3億11百万円（前年同期比16.9%増）、四半期純利益は1億82百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は226億77百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

① 集積回路

国内においては、自動車電装関連においては震災の影響により大幅に減少したものの、仕入先の統合に伴う商権の獲得により産業機器関連を中心に増加いたしました。海外においては震災の影響により日系企業向けを中心に減少いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は94億90百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

② 半導体素子

国内においては、自動車電装関連においては震災の影響により大幅に減少したものの、仕入先の統合に伴う商権の獲得により産業機器関連を中心に増加いたしました。海外においては、震災の影響により自動車電装関連の日系企業向けを中心に減少いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は40億25百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

③ 回路部品

国内において、震災の影響は軽微であり、産業機器関連中心に堅調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は39億69百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

④ 電子管

国内において、産業機器関連向けが増加したものの、娯楽機器関連の市場低迷により減少いたしました。

以上の結果、電子管の売上高は10億73百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

⑤ その他電子部品

国内において、産業機器関連向けにおいて海外向け設備投資関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は41億18百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

アッセンブリ事業

アッセンブリ製品

国内において、娯楽機器向けは減少したものの、設備投資関連向けが順調に回復し、産業機器関連向けでの新規採用が寄与し堅調に推移いたしました。

以上の結果、アッセンブリ事業の売上高は20億37百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作

国内において、PC周辺機器向け光ディスクドライブが減少いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作の売上高は11億90百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は633億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が49億93百万円、商品及び製品が24億93百万円増加したこと及び、受取手形及び売掛金が34億26百万円、有価証券が25億円、未収入金が18億15百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は70億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が56百万円、ソフトウェアが38百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、703億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は196億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億81百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が11億14百万円、短期借入金が4億19百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は30億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億49百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が15億円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、227億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は476億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億25百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が1億88百万円、為替換算調整勘定が1億34百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.2%（前連結会計年度末は67.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の市場環境につきましては、震災の復興需要が期待できるものの、欧州の金融不安による市場への影響や円高、資源の高騰など、先行き不透明な状況が続くものと見ております。

当社グループの平成24年3月期の業績予想につきましては、現在のところ、前回発表（平成23年5月16日）の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,108	13,102
受取手形及び売掛金	31,966	28,539
有価証券	2,500	—
商品及び製品	12,452	14,946
仕掛品	15	73
繰延税金資産	331	311
未収入金	7,870	6,055
その他	329	332
貸倒引当金	△59	△44
流動資産合計	63,515	63,317
固定資産		
有形固定資産	2,333	2,318
無形固定資産	400	361
投資その他の資産		
投資有価証券	2,300	2,244
繰延税金資産	396	409
その他	1,806	1,745
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,493	4,388
固定資産合計	7,227	7,068
資産合計	70,743	70,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,856	14,741
短期借入金	2,752	2,332
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	172	95
役員賞与引当金	28	7
その他	951	1,003
流動負債合計	21,261	19,680
固定負債		
長期借入金	—	1,500
再評価に係る繰延税金負債	301	301
退職給付引当金	1,042	1,044
役員退職慰労引当金	2	3
資産除去債務	4	4
その他	151	199
固定負債合計	1,502	3,052
負債合計	22,764	22,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,600	9,600
利益剰余金	29,879	29,690
自己株式	△77	△77
株主資本合計	48,904	48,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	66
繰延ヘッジ損益	—	0
土地再評価差額金	439	439
為替換算調整勘定	△1,818	△1,953
その他の包括利益累計額合計	△1,294	△1,447
少数株主持分	369	385
純資産合計	47,978	47,652
負債純資産合計	70,743	70,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	24,812	25,905
売上原価	22,674	23,672
売上総利益	2,138	2,232
販売費及び一般管理費	1,923	1,939
営業利益	214	293
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	18	18
仕入割引	4	0
為替差益	36	1
雑収入	8	13
営業外収益合計	72	35
営業外費用		
支払利息	13	12
雑支出	7	3
営業外費用合計	20	16
経常利益	266	311
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11	15
投資有価証券受贈益	9	—
その他	0	—
特別利益合計	20	15
特別損失		
固定資産除売却損	1	—
投資有価証券評価損	14	26
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26	—
その他	4	—
特別損失合計	47	26
税金等調整前四半期純利益	239	300
法人税等	65	100
少数株主損益調整前四半期純利益	174	199
少数株主利益	26	16
四半期純利益	148	182

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174	199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	△18
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△321	△135
その他の包括利益合計	△498	△154
四半期包括利益	△324	45
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△348	29
少数株主に係る四半期包括利益	23	16

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ事業	その他の事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,718	1,784	1,310	24,812	—	24,812
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,718	1,784	1,310	24,812	—	24,812
セグメント利益	667	49	39	756	△542	214

(注) 1. セグメント利益の調整額△542百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△542百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ事業	その他の事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	22,677	2,037	1,190	25,905	—	25,905
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,677	2,037	1,190	25,905	—	25,905
セグメント利益	698	62	8	768	△475	293

(注) 1. セグメント利益の調整額△475百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△475百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。